

官民一体となった建設工事における労働災害撲滅に向けて

岡山労働基準監督署

岡山労働基準監督署管内における令和3年の建設業の労働災害は前年（令和2年）に比べ大幅に増加しました。

こうしたことから、岡山労働基準監督署は本年度、「建設現場ローラー大作戦」を執行中で、労働基準監督官による建設現場の臨検を強化しているところです。

建設工事関係者連絡会議の開催

岡山労働基準監督署は、令和4年10月27日に当署において『建設工事関係者連絡会議』の構成員にお集まりいただいて、同連絡会議を開催しました。



建設工事関係者連絡会議

建設現場においては慢性的な人手不足、資材の高騰、外国人労働者（実習生）の増加等近年様々な問題や労働環境の変化が生じており、そのような中においても労働災害の防止は最重要課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染の影響で、安全パトロールが中止になったり、人との接触を避けるため安全教育が受けられない等安全衛生活動が満足に実施できない状況が続いており、今までにない工夫や努力が求められています。



挨拶する小松原署長

会議においてはこうした困難な状況下であるときこそ、建設業者・発注者・労働災害防止団体、行政機関、それぞれが連携し労働災害防止を図っていくことが申し合わされました。

また、石綿による健康障害を防止するため、本年4月から一定規模以上の建築物と特定の工作物を改修・解体する際には、石綿含有の有無等の事前調査結果の報告が必要になったことや、来年10月から事前調査を有資格者が行う必要があることについて、改めて周知していくことを確認しました。



アスベスト含有の有無を測定する「アナライザー」の説明をする高橋安全衛生課長

【建設工事関係者連絡会議 構成員】(順不同)

(工事発注者) 岡山県備前県民局、岡山市、玉野市、瀬戸内市、吉備中央町の各関係部署の責任者

(建設事業者) 岡山県建設業協会岡山東支部・岡山西支部・西大寺支部・玉野支部・建部支部の役員

(労災防止団体) 建設業労働災害防止協会岡山県支部の役員

(労働行政機関) 岡山労働基準監督署

建設業労働災害防止協会岡山県支部では「リスクにチャレンジ!岡山」運動を10月1日から来年3月31日まで展開し、岡山県の建設業界を挙げて労働災害防止に取り組んでいます。

木造家屋建築工事岡山地区安全対策委員会の開催

令和4年10月7日には『木造家屋建築工事岡山地区安全対策委員会』を開催しました。これは木造家屋等低層住宅の建築工事における労働災害を防止するために平成10年に設立されたものです。

木造家屋等低層住宅の建設現場は先行足場工法の普及等により、労働災害は減少傾向にあります。事業者には雇われない働き方(いわゆる一人親方)が全国的に増加していることもあり、それらに関係する省令の改正(作業を請け負わせる一人親方等に対する措置の義務化など)が令和5年4月1日に施行されます。

対策委員会においては建設労働組合各支部から安全パトロールの結果や、最近の現場における問題点等が提起されました。

また、大手ハウスメーカーの安全衛生に対する取り組みや足場の設置状況等の意見交換が行われました。



木造家屋建築工事岡山地区安全対策委員会

【木造家屋建築工事岡山地区安全対策委員会 構成員】（順不同）

- （建設事業者）岡山県建設労働組合岡山支部・岡山県建設労働組合西大寺支部・岡山県建設労働組合玉野支部・岡山県建設労働組合児島郡支部・岡山県建設労働組合御津支部・住宅安全衛生協議会岡山支部（本年度の代表幹事・ミサワホーム中国株式会社）・マルイチ株式会社岡山支店
- （労災防止団体）建設業労働災害防止協会岡山県支部
- （労働行政機関）岡山労働基準監督署

これから年の瀬に向かい、特に公共工事の発注が増えたり、工期末が近づく等労働災害の発生が多くなることが危惧される時期です。

小さなリスクも見逃すことなく、一人ひとりが安全意識を高く持ち、無災害を達成しましょう。